

いま学校で 子どもたちの様子

◇授業を参観に来られていた保護者の方から、「授業中にしっかり学習に取り組んでくれないと、見ていても、おもしろくない」と感想をいただきました。

授業中の余計な発言や、授業を妨害するような発言も見られることがありますので、教員で共有して、しっかり学習に取り組むような指導を心掛けたいと思います。

◇雨の合間に運動場で遊ぶ子どもも少なくないのですが、先日の朝は、6年生の男子が「先生、バスケットゴールの下を整備したいので、トンボを貸してください」と言いに来ました。

前日に湿っていた運動場で遊んで凸凹になっていたのが、気になっていたのですが、子どもが自主的に整備したいと言ってきてくれたのが、とても嬉しかったです。

◇3年の体育授業で、担任がケガをした児童の対応をしていた時に、子どもたちが自主的に軽いランニングと体操をして待っていてくれました。どうすればよいのかを考えて行動できるようになってきた様子を見て、嬉しかったです。

まだ、できない時や課題もありますが、子どもたちが頑張ろうという気持ちを行動で示すことができるようになってきているように思います。そんな雰囲気が学校全体で広がっていけるように頑張ります。

感染予防(マスク着用)と、熱中症対策

厚労省・文科省から、子どものマスク着用についてリーフレットが出されました。

新型コロナもまだ油断できない状況ですが、これから暑く蒸し暑い季節になりますので、熱中症の危険性も増えてきます。右のリーフレットを見ても分かるように、屋外でも屋内でも、人との距離が確保できる場合や、会話を行わないような場合は、マスク着用の必要がないと書かれています。

子どもたちには、無駄に大声を出したり、叫んだりすることをせず、熱中症の危険性もあるような時は、マスクを外してもよいと話しています。

ただ、子どもたちの様子を見てみると、今までのマスク生活をすぐに見直すことは難しいようです。感染症対策にも留意しつつ、熱中症の予防にも、ご理解ご協力よろしくお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

目安 2m 以上

就学児について (小学校から高校段階)



マスク着用の必要がない場面

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
 - ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
- <例>離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び
- <例>屋外で行う教育活動(自然観察・写生活動等)

屋内

- ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
- <例>個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活

屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際 ※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう ※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

気を付けるポイント

- ▶夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
 - ▶マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
- ※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。



新型コロナウイルス感染症予防のために(厚生労働省HP)



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

文部科学省

新型コロナウイルスに感染した感染症対策に関する対応について: 幼稚園・特別支援学校に関する情報(文部科学省HP)

